

京橋の印刷

3月30日1994・No.88

東京都印刷工業組合京橋支部
〒104 東京都中央区新富1-16-8
日本印刷会館3F 電話 3552-1855

発行人
神林克明



新川・住友ツインビル川畔より中央大橋とリバーサイドシティを望む

お礼のご挨拶

支部長 神林 克明

桜花の候となり京橋支部員の皆様には、お健やかな日々をお過ごしのことと思います。

さて、印刷発祥の地という由緒ある京橋支部を、田島前支部長より、お引受けをいたし今日まで、大過なく任期を努めることが出来ましたことは、支部員の皆様をはじめ、小山常務理事、執行部各位におけるひとかなたらぬご指導とご協力の賜と心より厚くお礼を申し上げます。

昨年九月十七日、京橋支部創立七十周年行事を盛大に挙行いたしました。記念すべき年となりました。あらためて、各位のご理解ご協力を感じし御礼を申し上げます。この記念行事を機に、論語の教え「温故知新」にたちかえることで、支部員皆様の連帯感を深めると共に、二十一世紀に向けての更なる飛躍の決意を固めることが出来ました。一方本部事業においては、第四次構改がスタートをいたし、電子化と高付加価値で創る豊かさとし生産性のハーモニーを目標に、経営の体質を一新すべく進路を確定しております。

次期支部長には、新年臨時総会にはかり、人格識見ともご立派でおられる、誠文社印刷株式会社、荒川龍治氏が推薦されました。京橋支部のこれからにとり大いに貢献いただけるものと確信し期待をこめております。

この二年間は公私ともにはわたり、大変貴重な体験と勉強をさせていただきまして、終生忘れ得ぬ思いでございます。

末筆ながら京橋支部のご発展と、支部員皆様のご健勝ご事業のご繁栄を祈念いたしまして、御礼のご挨拶いたします。

新年臨時総会開催

1月21日(金)

於・中央会館

京橋支部新年臨時総会が、1月21日(金)午後6時より、中央会館7階に於て開催されました。定刻6時に、水野副支部長の司会により開会されました。開会のことばが宮入副支部長が次のように述べました。「皆様明けましておめでとうございます。本日はお寒い中、又お忙しい中をご来賓の皆様、又支部員の皆様の方も大勢おいで戴きまして有難うございます。今日は急に政治改革法案が参議院で否決されて、誠に政治は難かしいなあと思っております。景気の回復も足踏みする訳ですが、どうかこの組合におきましては、皆様一致団結しまして、この難関を乗り越えて戴きたいと思っております。それではこれより東印工組京橋支部の新年臨時総会を開会致します。よろしくお願い致します。」(拍手)

続いて神林支部長が次のように挨拶しました。「皆様明けましておめでとうございます。本日は大変お忙しい中、又寒さの一段と厳しい中を、東京都印刷工業組合京橋支部新年臨時総会に、ご来賓の皆様、又支部員の皆様多数のご出席のもとに開催出来ます事を心から御礼申し上げます。今年のお正月は大変隠やかな天気に恵まれました皆様、心健やかに新年をお迎えになっ



のではないかと思います。しかし乍ら私共を取巻く経営環境は大変厳しく、不況という低気圧が日本列島を取り巻いており、明るさの見えないままに新年を迎えた訳であります。その中に於きまして、昨年は私共にとって明るい話題としまして、京橋支部創立70周年の行事を、皆様のご理解とご協力のもとに開催出来ました事を厚く御礼申し上げます。又、他の事業につきましても、長寿者の集い、永年勤続従業員表彰等がございました。それも無事に終える事が出来ました事を重ねて、御礼申し上げます。

さて、12月13日に第4次構改が承認されました、すでにご承知のように、電子化と高付加価値、生産性と豊かさという4つのキーワードのもとに私共は各自の企業の中で、自分なりに努力なさっているのではないかと思っております。お手許に電子化の三部作をお届けしていますが、何を於ても我々情報化社会に於きましては、勉強に次ぐ勉強という事で、この電子化は避けて通れないものであると私は思っています。

2月には管理用ソフトの勉強会を開催する予定であります。12月には第4次構改の調査票をお配りしておりますが、何かと煩わす事ですが、一応、今月末が締切りとなっておりますが、それ以降にも、必ず提出して戴きたいと、この場をお借りしてお願い致します。いずれにしても、大変仕事量の少ない中で、受注競争と申しますか、我々が組合の連帯感の中で、疑心暗鬼を捨て、受注競争を慎しんで行かなければ、基本である組合の精神、親睦は出来ないのではな

いかと私は思います。いずれにしても、会合等にご出席いただきその中から、お互いの理解を深めて頑張っ行ってきたいと思うっております。今日議事であります次期役員選挙経過報告を石澤委員長からして戴きますので、省略しますが、私共執行部の任期は僅かになりました。残りの短い任期を皆様のご協力により、相勤めさせて戴きたいと思えます。最後になりましたが、皆様方のご健勝と寒さの折からお体に気を付けて戴きたいと思えます。簡単ではありますが、新年のご挨拶とさせて戴きます。有難うございました。(拍手)

次いで議事に入り、次期役員選挙委員会経過報告が石澤委員長より次のように報告されました。

「皆様明けましておめでとうございます。京橋支部規約第12条によりまして、前回の定時総会に於きまして、次期役員推薦委員が決まりました。名前を申し上げますと、顧問・相談役から齋藤さん、小宮山さん、小葉さん、小山さん、田島さん、そして私の7名に執行部から神林さん、十文字さん、篠倉さんの十名が指名されました。12月1日に選挙委員会を開催致しました。全員の出席で推薦委員の方々に協議を願ひまして、慎重に審議を致しまして、次期支部長候補として、満場一致で現執行部の筆頭副支部長で、組合本部では理事、又事務用印刷委員として活躍されています、月島地区の誠文社印刷(株)荒川龍治氏を支部長候補者に推薦致しまして、荒川さんに次期支部長就任の要請を致しまして

受諾をされました。又副支部長、監査につきましては、規約11条によりまして推薦委員会及び支部長候補者の推薦により、総会に於て選出するとなっております。選挙委員会を開催致しまして、副支部長、監査の推薦を致したいと思ひます。各地区に於きましては、どうか一層のご協力をお願い致します。そして、平成6年は第4次構改事業のスタート年でございます。京橋支部と致しましても、支部の発展を願ひ、活性ある執行部をスタートしたいと思ひますので、どうかよろしくご協力をお願い申し上げます。以上が経過報告でございます。(拍手)

次に来賓挨拶に移り、東印工組常務理事の小山英美氏が次のように挨拶しました。

「今年程、新しい年の夜明けが待たれた事はありません。皆さん明けましておめでとうございます。来賓という事でご紹介戴いておりますが、私は京橋支部の支部員ですので、身内の仲間の一として、ご挨拶を申し上げます。身内の仲間一人として、ご挨拶を申し上げます。神林支部長を始め役員の皆様方には、ご苦労を戴いております。重ねて敬意を表し感謝申し上げます。次第です。只



今次期支部長候補として現副支部長の荒川龍治さんがご推薦されました。頼もしい限りでございます。ここで東印工組の現状をこれから、簡単にお話し致します。東印工組の運営について、日頃支部をあげて皆さんのご協力を頂戴しております事を心からお礼申し上げます。構改事業は昨年、事業計画の策定がありました。皆様も業態調査票の作成やその他の色々な調査にお手数をかけました。お蔭をもちまして、昨年12月13日に通産大臣の認可を戴きまして、第4次事業としてスタート致しました。この事業は1999年3月迄の5年間に亘ります。正に21世紀への橋渡しとなります。これからの5年間も予測のつかない大きな変化があるだろうと言われております。その技術改革の大きな基本が電子化であると言われております。第4次構改は先程も話がありましたように、電子化、高付加価値化、豊かさ、生産性の4つのキーワードからなっております。その内容につきましては皆様方にはすでにご承知でございますので、省きますが、業界の機関誌であります「東京の印刷」、「日本の印刷」には、塚田理事長が構改の内容につきまして、判り易く詳しくお書きになっております。

その中に、これからの企業経営は需要構造に大変な変化があるであろうと、又現実には大変身するであろうと、従ってそれぞれの企業はその環境に適応した自己変身しなければいけない、そのためには工業組合が中心になって、組合員の皆様が一層の連帯感を強めて結集していく事が大事であると、こう結ばれてあります。又、

難しい時代、厳しい時代であればある程、工業組合の結束、力が必要になり、大事なものになるのではないかと考えます。さて新年総会でお話ししました印刷料金の新しい料体系の研究は 8 月に財団法人経済調査会が資料を独自蒐集して印刷料金表を発行致しました。その内容に工業組合で検討したいような問題を反映して戴きました。印刷業界の実態を踏まえた料金体系が少しでも、正しく近づいたものになっています。是非皆さんも印刷料金表をこ一読戴きたいと思えます。それが又業界のレベルアップに繋がる事だと思っております。又取引慣行の改善の研究につきましては、やっと改善事項のチェックリストとして、小冊子を出しました。もう各支部宛に発送が終了致します。

皆様のお手許には今月一杯にはお届け出来ると思えます。これも業界の水もれ体質を解消するため 100 時間を費して作成したものです。是非各社の営業マンの方々にもお読み戴いて、有効にご利用戴けたら有難いと、お願い申し上げます。最後にになりましたがご出席の皆様のご健勝と企業のご繁栄、そして又今年中がよい年でありますように願いを込めて終らせて戴きます。有難うございました。(拍手)

続きまして中央区工団連会長、平林智司氏が挨拶しました。「皆さん、明けましておめでとうございます。只今ご紹介戴きました工団連の平林でございます。昔からの諺にあるように、「目度さも中位いなり、おらが春」という俳句が川柳の句があります。今年はそんな感じの



する新年ではなかつたかと思えます。昨年から不況／＼という言葉を引きずり乍ら新年を迎えた訳ですが、不況というのは、どうも考えてみますと、そんなに不況ではないと、当り前のことだ、当り前にやって来たのじゃないかと、私も思ってますが、先頃のあのバブルはにせ者だったのですね、あのにせ者我々、これだけの日本を造ってきた我々が見破れなくて、浮かれていたという事が今の不況の苦しさを味っているのではないかなあと、こう思います。

さて京橋支部さんも 70 周年を迎えられました。私は日本橋支部ですが、日本橋も 70 周年で、先輩が作ってくれたこの実績を踏まえて何としてもこの不況を乗り切って行かねばならないとして、天はバブルで浮かれた我々の気持ちに鉄鎚を

加えたのではないかと、こう解釈して、尚一層頑張つて行かねばならないと思えます。先日の新年会の席で、ある学校の校長さんが、「天明のききんは、あれは天が与えた試練であつたと同時に、その試練に耐えた民が、それを乗り切つて、その後世の繁栄の基礎を作つた」というような話をされた訳ですが、あの天明のききんというのは、大変だつた十何万という人が死亡したそうですが、今歴史的にみてその危機は現在と同じ試練ですが、もつとひどかつたのです。今我々に重くのし掛つているのは、バブル後遺症もさる事乍ら、米の凶作が大きいのし掛つているのではないかと思えます。天の与えた試練ではないかと思えます。70 年という歴史をもつ組合がこんな不況が乗り切れない筈はございません。先輩がしっかりと輪だちを作つてくれた、その上をしつかりと踏みしめていけば、この難関を乗り切れるのではないかと私はこう思います。どうか一つ、この不況に耐えて、幸せになるように我々は試行しながら、明るいムードで来春を迎えられるようにしたいと思います。

今年は中央区産業文化展があります。京橋支部の皆様のご指導とご協力を頂戴しながら、今迄は大変ご好評のようですので、又立派な産業文化展にして戴きたいと思えます。よろしくお願い致します。皆様のご健勝とご繁栄をお祈りしまして、年頭のご挨拶とさせて戴きます。有難うございました。(拍手)

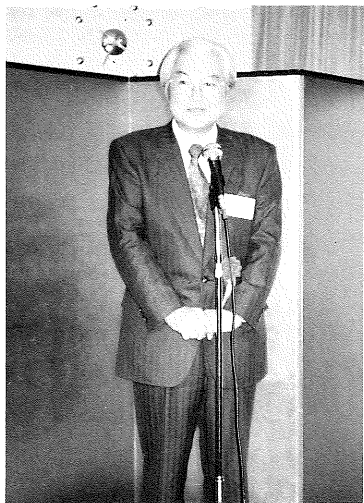
続いて来賓の紹介があり、中央区長が 7 時頃

来場する予定ですと、河野商工課長から報告されました。これで総会予定終了、荒川副支部長が閉会のことばを述べて終了しました。その後、別室にて、松川副支部長の司会で新年祝賀会が開かれて、関連業者37名を加えて、総勢約120名の方々に前に、神林支部長が登壇して、昨年の70周年記念事業への、皆様のご協力を感謝してお蔭様で無事開催する事が出来ましたと挨拶しました。続いて関連業界を代表して(株)芳賀洋紙店社長芳賀良男氏が「関連業界として皆様の発展に遅れをとらないように、共存共栄でやって行きたい。」と挨拶されました。



次いで乾杯に移り、京橋支部顧問、久保田幸一郎氏が力強く、「乾杯」と祝杯を挙げて、皆さん唱和して、賑やかに、親睦を深める挨拶を交しておられました。乾杯後に遅れて掛けつけた中央区長もお祝いの言葉を述べられました。宴半ばには、工団連平林会長のおはこの浪曲も出て、賑やかに座を盛り上げていました。最後に8時過ぎ、田島相談役の中締めでお開きとなりました。

(岩本)



中央区優良従業員表彰式

2月17日(木)午後3時から、中央会館7階に於て、中央区商工業各種表彰式が行われました。開会の辞に続き、まず商業関係者の表彰が行われたあと、工業関係の表彰があり、工業事業主は、京橋支部では申請がなく、工業優良従業員では、10年以上表彰に、(株)久栄社1名、(株)白橋印刷所3名、白橋フォーム(株)2名、(株)三田村印刷所2名の8名が受表彰しました。20年以上には、(株)久栄社1名、(株)白橋印刷所4名、(株)白橋フォーム2名、高千穂印刷(株)1名、尾賀印刷(株)1名の9名、そして30年以上では、(株)久栄社2名、(株)白橋印刷所8名の10名、総計27名の方々が受表彰されました。矢田中央区長並びに平林工団連会長から、それぞれの代表者へ賞状と記念品が手渡されて、拍手を受けられました。その後、矢田区長及び各団体の会長の挨拶が行われて、中央区議会議長、東商中央支部長の祝辞が述べられて、受賞者代表の謝辞が述べられて、表彰式は終了しました。受賞者は6階にて記念撮影のあと、別室にて祝賀会が開かれて、永年の労苦が慰労されました。

京青会2月工場見学会

日本加工製紙(株)高萩工場

2年に1度の旅行を兼ね2月19日(土)、八丁堀地区(株)白橋印刷横山明夫氏、新川地区(南)幸文社石井印刷所石井治久氏の幹事で(株)ヤマト杉山専

務のご紹介により日本加工製紙(株)高萩工場を会員18名の参加で見学致しました。

当日は、天候もおだやかで工場の方も、土曜日の午後にも拘らず、多くの時間を割いていただきゆつくりと工場見学を行なう事が出来ました。

その後、常磐湯本温泉で一泊、会員相互の懇親を深めました。



秀英堂紙工印刷(株)

日本プロセス(株)見学会

3月11日(金)11時30分、印刷会館前をバスにて出発、秀英堂紙工印刷(株)・日本プロセス(株)両社長、堀澤宏氏の御好意により、同社手配のバスにて、支部役員他、16名が両社の玉川工場へと向いました。車中にて簡単に腹括えする内に午後1時同社工場へと到着し、早速、4階の会議室にて、両社の設備等について説明を聞いた後、2班に分れて、両社々員の案内で工場見学へと向いました。1階は印刷工場で、広い室内には、小森機械の4色機・5色機が並んで据えられており、昼夜2交代の生産体制で稼働しており、秀英堂紙工印刷が120名、日本プロセスが70名の総員を擁している。2階はOA室で集中管理する一方、制作部ではまずPCSで原稿を細かくチェックし、作業分担に応じて、CMS、LSS、SNSの3つのセクションに振り分け各々の工程を経たものを、RTSで印刷の原版となるフィルムに加工、QPSで校正したものにデザイナーが訂正を加えてQCSで最終チェックをするという念の入れようです。3階は、日本プロセスの製版室で、4階は会議室の他、製品倉庫も備えている広さです。同社では、これから大手業者に対抗して行くため、中小印刷会社の作業交流を展開して、お互いの設備を有効利用しようという、支部員間のネットワーク作りの一助になればという、堀澤社長のご好意で今回の見学が実現しました。

(岩本)

地区だより

八丁堀地区

続けるぞ、素晴しきかなゴルフ

於 高坂カントリークラブ

・第三六五回例会競技及び年度優勝

・河野秀衛氏（元国際印刷）

・平成五年十二月十六日（木曜日）快晴

・北々東の風 感度 寒い寒い

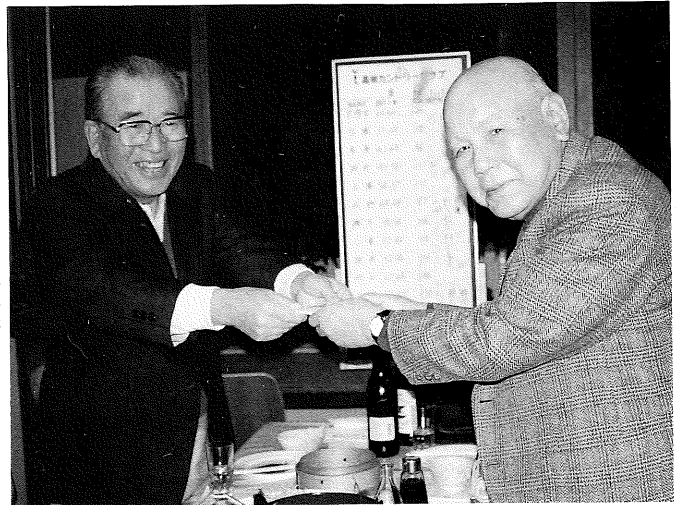
今日はわれらが村、八丁堀地区のゴルフコンペの決戦日（今年度月例優勝者による年度優勝の決定戦）であり、去日十二戦の成績から新たに決ったハンデによる初戦でもある。

支部七十年史にも紹介したが、昭和三十三年より回を重ねて三六五回を迎えた。

親父が出なくなれば、息子が、はたまた社員
の代打ちと、続ける、続けるよ！！との直向な
熱意、強たかな粘り、これぞ八親会の意とする
ところか。

不況のなか、年末多忙？のところ、寒さにも
めげず嬉々として出向く様、まさに若者の如
く（本場に若い人もいるのだが）、日頃の管理
体制、差練りの万全と余裕を誇示しているかの
如く（なにもこんな時無理して行かなくても、
何処かで云っているのが聞えるようだ……）。

肌寒い北風の吹くなかでの参加であったが、
今回特にゲストを迎えての開催であった。入会



栄者と賀品と笑顔 右 賀品 左 河野氏

の資格審査？ のための参加はあっても、VIP
の参加は記憶にない。前月の地区月例会議に
神林支部長が出席され、その折お誘いしたところ
快諾を得たのである。

支部長の手前伝統ある会の運営、メンバーの
腕前？ を披露せんもの、と各々意気大いに上
る。がしかし、なあとにスコアは結果だよ、まず
第一に健康のためであり、マナー・ルールを守
り、楽しくプレーし、和をもって友情を維持す
ることこそ大切なれ」と達観しているメンバー
もかなりいる筈だが、やはりスターティング・

ショットは気になるのか、心中期するものがある
のか、一刻の緊張感が辺りに漂う。しかし、
やがて緊張が解かれ、緩るれば、時に往年の華
麗なショットが甦り、自分ニマリと満足な足
どり、そして突如として「何故？ どうして？？」と崖を降りるのになら呪文のような
呟やき。

やがて三人の待つフェアウェイに戻って、息
も絶えだえ足腰の衰えを痛感する。そこへ待つ
ていました、とばかり「お客さん、前が空いて
います。急ぎましょう」とキャディの番声？
（ウグイスではない）にも似た声に促される
（何を言っているやがる、急げ〜といったって、
四人で一六のところ三六も打てば、前が空くのは
当りまえ、一々云われなくても三十年も前から
日に一度や二度は聞いているセリフだ、息が切
れなきや走っても、と独り言）。

中食時は、いつもながら和やかな談笑のなか
に、あそこでクラブの番手を、スタンスがと悔
やみ、一杯のビールにバックナインの期待を託
するがごとく呑み、ひとときの寛ぎを得ても、
やはり二時間後には空しいかな、ゴルフはスコ
アばかりじゃない、健康と友情のためだ！！ な
あに、そのうちたまには自分でも驚くようなス
コアも出るだろう」と神頼みにして、勝者を讃
え一九番ホールの美酒に明日への活力を養って、
次回のコンペまでクラブよサヨウナラである。

「我ら八親会のゴルフは競技が手段であって
目的ではない。たかがゴルフじゃないか」と言
いながら、また案内が来れば数日前から日程の

差繰りをし、前夜嬉しさのあまりつい多目のアルコールで夜明けが待ちどおしく、いそぐと朝早く起きるのである。

三六〇回の競技を了えた後のある日、自から回数が多さに驚きながらもそれを記念して、現在心ならずもプレーを休んでいる方や物故された先輩も懐のうちにお招きし、一タフランス料理と美酒に、ありし日の名プレー珍場面的一端



いざ出陣！スタート前の勢揃い



スコアは忘れて競技のあとの談笑

を伺って歓談の一刻を過ぎ、各自の銘を刻んだバターを会より贈られた。

早速次回に使った人、床の間に飾る人、はたまた逆にしてステッキ替り？にする人があると聞いてはいるが。昨年夏には初めて海を越えて北海道へツウラウンドのツアーを行ない北の雰囲気を楽しんだ。

四〇〇回記念は、アメリカはベブルビーチで、五〇〇回は、イギリスのセントアンドルウスか、いや／＼それまで待ちきれないときは、ジョージアのオーガスタでやるか、ともあれギネスブックにのるまでは続けるゾ八親会ゴルフメンバーに栄光あれ！！ 万歳

(昔々、年度優勝したことがある S 記)
登録メンバー(順不同)
いまはなきスタープレーヤー

休養中の往年の名字

- 浅見 米一
- 鎌田 実
- 村上 信
- 榎本 栄七郎
- 山崎 正一
- 小倉 武治
- 児玉 正己
- 三田村 桂太郎
- 石沢 幸
- 綿引 晃
- 久保田 幸一郎
- 堀田 肇
- 小林 晃
- 富原 健治
- 河野 秀衛
- 小倉 昭夫
- 井上 弥
- 石橋 清治
- 白橋 達夫
- 毎原 崑代志
- 相沢 博
- 鈴木 英治
- 十文字 康雄
- 児玉 秀丸
- 榎本 則義
- 和田 敏江
- 村上 繁夫

新富地区

新富地区研修会・新年会

・平成六年二月四・五日(金・土曜日)

・研修会 コニカ株・小田原事業場

・新年会 箱根湯本「吉池旅館」

昨年夏頃から「このような厳しい景況下、親睦を深める会合も結構なんですが、新富地区会員お互いに、設備や得意な分野などの情報を交換し合う会を開き、地区内で仕事面のキャッチボールが出来るようになれば尚結構な話で……」との意見を会員諸氏から聞くようになり、九月末に有志数名で、そのような主旨の会がもたれました。また、11月25日の忘年会に先立ち2時間程、「情報交換会」を開いたところ、各社5〜6分の持ち時間では足りない程、活発な話し合いが行なわれ、勉強、研修の大切さをも認識しあいました。

そこで今回の一泊旅行の新年会に際し、見学研修会を行ない、その後旅館で意見交換、情報交換会をしてから新年会に入るという段取りを事業幹事の日刊スポーツ印刷社の片岡さんが企画しました。

さて、2月4日当日、11時10分新宿駅小田急

改札口に集合、11時40分発のロマンスカーあしがら55号に乗り込みました。車中で昼食、例年ですとビールでほろ酔い加減というところですが、今回は見学会があるため会で用意した飲物はお茶だけ。谷筋に雪を残す丹沢の山波や立春の陽ざしをうけて輝く川面などを車窓からながめながら歓談、一路小田原へ向かい、12時53分到着。

今回の参加申込みは15社15名でしたが、2名が直前になって不参加となりました。13名がタクシーに分乗し、約20分でコニカへ着き、すぐ記念撮影。

一同研修室に案内され、林総務課長の司会により植田品質保証部長の挨拶、コニカ株式会社および小田原事業場の概要とスライドによる製造工程の説明がありました。何ぶんにも製品が製品だけに暗室での作業が多く、実際の後1時間にわたる工場見学でも、原材料印画紙のロールと倉庫への導入部分、加工されて段ボールに梱包されてシールが貼られる搬出部分しか目に触れることができませんでした。

暗室での製造工程、例えばコニカカラーペーパーについては、自動倉庫から運ばれた原紙に写真乳剤を塗布乾燥する工程は見学者には見えず、赤外線によるテレビ画像で確認できるだけです。

生産ラインは全て、立派なコンピューター中央制御室で一貫制御されておりました。

このコニカ小田原事業場は、一般用カラー印画紙のほか印刷用フィルム、運転免許証用印画



紙、カラーコピー用印画紙なども生産しており、約600人の従業員(三交替勤務)、敷地4.7万㎡とのことです。見学後、足利平野を一望できる屋上に行き、箱根連山を背負った地形は空気も澄み、「富水」という小田急線最寄駅名からも分

るように地下水も豊富で、工場立地に恵まれて
いることが良く理解できました。

人は社会の一員、企業も同じ、社会に支えら
れているとの考えに則り、グローバルなも
から地域への体育館やグラウンドの解放など
コミュニケーションの構築に力を入れ、企業文
化活動を通じて社会への貢献をめざしている
コニカ株式会社をさわやかな気分で見送って
いただきました。
社員の方々の姿が今でも目に浮かんでいま

4 時に箱根湯本「吉池旅館」着、幹事部屋に
集まり反省会と情報交換会に入りました。

ハガキや封書によるダイレクトメールに高付
加価値をつけるための多層化、多機能化につ
いて、法文社浅野社長から「郵便料も値上げさ
れました。当社のメクルメールハガキとメイラ
ブルパック封書を営業ツールとして利用して
ください」との提案がありましたが、短かい時
間でしたので、後日改めて説明会を開くこと
になりました。

6 時からは新年会。片岡幹事の司会により一
同楽しく歓談、カラオケも始まりました。今回
は参加者全員がレパトリーの一端を披露して
一次会はお開きとなり、ひきつづき全員幹事部
屋へ移動、きれいだころも共に移り二次会とな
りましたがこれ以降のことはあまりよく覚えて
おりません。

翌5日、皆元気にすっきりと8時に揃って朝
食、食後解散となりました。

新富地区勉強会のPR

。2月14日(月)午後5時～7時
於・東印工組印刷会館3F会議室

多層ハガキ「メクルメール」

多機能封書「メイラブルパック」について

(株)法文社・浅野秀夫社長

シール印刷の現状

(株)シール竹山・竹山宗次社長

。2月25日(金)午前11時～12時

於・オカムラ印刷(株) カラーDTPセンター
(岡村忠雄社長)

昨年11月に開設したカラーDTPセンタ
を訪問、文字・図形・写真の入力から製版
までの一貫作業を見学させて頂きました。

今回は地区有志の希望により実施しまし
たが、お申出があれば再度行なう予定です。
。3月9日(水)午後5時～7時

於・(株)シオザワ 6F会議室

「カシオ印刷業システム勉強会」

カシオ東京システム販売(株)と(株)シオザワさ
んのご協力をいただき、簡単に使えるとい
われている業務用管理ソフト「楽一」の操
作実習をしました。

手書き感覚で扱えるとのことでしたが、確
かに初めてキーボードにタッチした者にも
分りやすく、客先指定伝票にも記入でき
るので、書くことが苦手な人には向いてい
るかなと思われました。尾賀入船地区長も加
え参加者13名に対し、カシオの社員が7名、
懇切丁寧な説明を受けられました。



新富地区の加入者募集のお願い

新富地区には印刷業を営むオフィスが数多く
見受けられますが、まだ印刷組合に加入され
ていない企業が多くあります。他地区の方で、新
富地区の業者を御存知の方がおられましたら、
是非、勧誘して戴きたく、お願い申し上げます。
新富地区では、勉強会の他にも、旅行会、ゴル
フ会等々、親睦を重ねています。
(木島)

支部の動き

12月2日(木)本部支部長会、(15時～17時)於・印刷会館、神林支部長出席

12月3日(金)部長・監査・地区会長、(17時～19時)於・築地仲乗、会費8千円

支部長会報告事項について
1、下期事業の運営について
2、下期事業の運営について
3、下期事業の運営について

構造改善事業―第4次構改計画の承認

時期、12月10日前後、平成5年度実績6年度計画調査票の配付「全印工連の電子化」3分冊の配布、12月～1月高度化事業―「管理用ソフト」の開発普及研修会の開催1/20、定員各20名

経営改善関係事業―取引慣行改善チェックリストの配布、12月中支部配布。

教育事業―「印刷上級営業管理講座」、「印刷営業管理士認定試験」次年度へ繰延べ、高度化事業―パソコン教室の開催1/11立川会場

組織・総務関係事業―新春の集い、関連業者64名申込、賦課金算定基準改定

2、当面する支部事業について
3、当面する支部事業について

。新年臨時総会開催、1/21(金)18時中央会館参加支部員73名、関連事業者36名、来賓4名、報道6名、合計約120名、パソコンネット嬢6名

。3月23(水)「管理用ソフト」体験研修、

支部主催、桜井グラフィックシステム
その他、支部報発行3/下、新富・八丁堀地区担当

12月28日(水)支部事務局仕事納め
平成6年
1月5日(水)仕事初め
1月10日(月)中央区工団連地場産業小委員会、(10時30分～12時)於・中央区役所
1月11日(火)中央区工団連新年会、(18時～19時)於・中央会館、神林支部長他役員出席
1月13日(木)東印工組次期役員推薦委員会、(16時～17時)於・椿山荘、神林支部長出席、
1月13日(木)本部「新春の集い」、(17時30分～19時30分)於・椿山荘、京橋支部60名参加
1月17日(月)部長・監査会、(12時～14時)於・支部室、新年臨時総会打合せ他
1月21日(金)京橋支部新年臨時総会(18時～19時)於・中央会館、会費1万円
総会次第 司会 水野副支部長
。開会のことば 宮入副支部長
。あいさつ 神林支部長
。議事
次期役員選考委員会報告石澤委員長殿
。来賓挨拶 東印工組常務理事 小山英美殿
中央区長 矢田美英殿
中央区工団連会長 平林智司殿
荒川副支部長

新年宴会次第(19時～20時10分)

。閉会の言葉

進行 松川副支部長
神林支部長

。あいさつ

。関連業界代表あいさつ
(株)芳賀洋紙店社長 芳賀良男殿
。乾杯 京橋支部顧問 久保田幸一郎殿
。歓談

。中締 京橋支部相談役 田島一弥殿

1月28日(金)中央厚生事業協組新年会(17時30分～19時)於・日本橋山田屋、神林支部長他役員出席

2月3日(木)本部支部長会(19時～17時)於・印刷会館、神林支部長出席

2月7日(月)次期役員推薦委員会(12時～14時)支部室、各委員10名出席

2月17日(木)中央区優良事業主・従業員表彰式、(15時～17時)於・中央会館、神林支部長出席、京橋支部より従業員27名が受彰する

2月18日(金)京橋電気安全協合理事会(11時30分～12時30分)於・京橋消防署岩本書記出席

2月24日(木)中央区産業文化展実行委員会(10時30分～13時)於・中央区役所、神林支部長他委員出席

2月24日(木)本部次期役員推薦委員会(15時～16時)於・椿山荘、神林支部長出席(16時～17時30分)関東地区協議会、終了後懇親会

3月1日(火)支部次期役員推薦委員会、(12時～14時)委員全員出席、本部理事を選出

3月3日(木)本部推薦委員会、(15時～15時半)終了後、支部長会(15時半～17時)於・印刷会館、十文字副支部長代理出席

3月8日(火)中央区工団連見学会、(9時～15時)於・かながわサイエンスパーク、みなとみらい21を見学

3月11日(金)部長・監査・地区長会见学会(13時～17時)於・秀英堂紙工印刷(株)玉川工場

1、支部長会報告事項、(下期事業について)

。構造改善事業―第4次構改調査票の回収

。総務関係―賦課金算定基準の見直し

。その他―プリンテック'94、8/25～8/27、晴海で開催、資材展と併催、入場料500円予定

。新旧支部長の引継ぎ、支部長マニュアルの活用、役員改選進捗状況

2、支部提案事項

。大手企業の中小企業分野へ参入について

3、当面する支部事業について

。構改事業―体験研修会「管理用ソフトの概要紹介(プリント/V)、於・(株)サク

ラシステムサポート(桜井グラフィック内)

3/23(水)18時開催

。通常総会の開催、5/19(木)18時、中央会館、

。その他、4/初に監査会、部長会で予算作成

。支部報発行、3/下～4/上、新富・八丁堀担当

。委員会報告

3月17日(木)京橋製本協同組合と懇談会(18時～19時)於・勤労福祉会館、荒川副支部長、

十文字副支部長出席

3月23日(水)体験研修会(管理用ソフト)関係、(18時～20時)於・(株)サクラシステムサポート(桜井グラフィック内)、10名参加

3月24日(木)本部理事会(15時～15時)於・全印健保会館、神林支部長他理事出席

支部員の移動

所在地変更

。(株)日刊スポーツ印刷社(新富地区)は、築地7-8-5、TEL 3248-4401、FAX 3248-4414へ移転。

。(株)サン・アート(京橋地区)は、銀座1-19-12、理研ビルへ移転しました。

。長崎印刷(株)(入船地区)は、新富2-14-5真下ビルへ移転。

。(有)羽生印刷(入船地区)は、江東区東陽5-16-3、TEL 5683-7511、FAX 5683-7515へ移転。

お悔み申し上げます

▼新川地区、(株)谷島社長、谷島正次郎殿が逝去されました。(12月)

▼築地地区、大興印刷(株)社長御尊父、佐野龍也殿が逝去されました。(2月)

編集後記

声も今年に入ってやっと聞かれました。ここ2～3年、低迷する景気と、米国からの

内需拡大の外圧に尻を叩かれて、通産省では来

年から、景気を少しでも刺激しようとして、戦

後の昭和23年頃からG H Qの指導の下に行われ

た「サマータイム」を実施しようとして企画してい

ます。米国では「デイライト・タイム」と呼ば

れているとかで、石油ショックの時は冬も実施

されたという事ですが、日本では丁度、戦後の

復興期に実施したため、余暇時間が残業に向け

られたりして、勤労者には不人気で、2～3年

で中止になったものです。世界の先進国の中で

実施していない国は、日本とアイルランドだけ

だとかで、実施されれば、夕方の2～3時間の

日照時間が余暇に使われて、需要拡大になり家

族サービシスに繋がりが、照明等、エネルギー資源の

節約にもなり、一石二鳥と音頭をとっています。

確かに、この低迷する経済ムードを一扫するの

には、最も手取り早く、金もかからない施策か

と思われます。余暇の有効利用とそれによる有

効需要に各人が貢献する事に繋がれば、最上で

す。もともとまだ日の高い時間に退社となれば、

一寸一杯という訳には行かず、赤提灯には脅威

となるかも知れませんが、勤労者の健康には良

いでしよう。さて、神林執行部もこの春で、任

期を終り、次へバトンタッチする訳ですが、ま

さに、あつという間に2年間に過ぎた感じがす。

創立70周年記念事業等、次から次へと本部、支

部の開催する行事に追われていたせいでしよう。皆様、本当にご苦勞様でした。(岩本)

「寒さ暑さも彼岸迄」の言葉どおり、彼岸明けの24日になって、やっと寒気も柔らいで春めいてきました。梅の香に誘われて、ウグイスの